

受賞

おめでとうございます

～アイヌ文化の伝承脈々と～

祝

文化庁長官表彰 山崎シマ子さん
北海道文化賞・アイヌ民族文化財団アイヌ文化賞 宇梶静江さん

アイヌカ シマフクロウの家 2月イベント「宇梶静江さん受賞記念講演」

アイヌの伝統刺しゅうの技法を基に、古い布を重ねアイヌに伝わる叙事詩「ユカラ」を表現する古布絵の世界を切り開いたことなどが評価されました。詩人、古布絵作家、アイヌ文化伝承者。

日時 2月10日(土) 13時～14時30分 会場 シマフクロウの家 (東町3-3-4)

参加費 1,500円 申し込み Eメール (ainugaku@gmail.com) か下記に電話で。

詳細 シマフクロウの家 ☎080-5459-7788

くらし百科

町内の3人が晴れの統計功労者表彰

鈴木さんが「総務大臣表彰」湯浅さん、奥村さんが「知事表彰」受賞

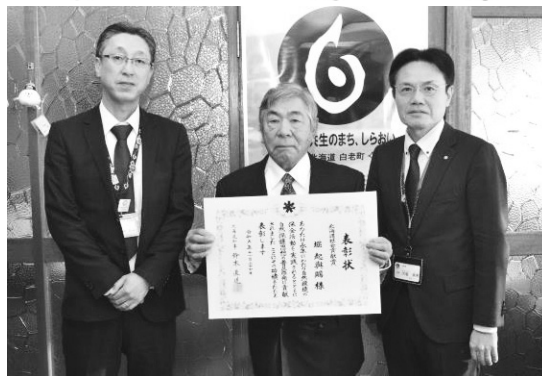
令和5年度統計功労者表彰伝達式が役場で行われ、町統計調査員の鈴木靖男さん(82)＝写真左から2人目、湯浅精三さん(80)＝写真左から3人目、奥村勇さん(76)＝写真右＝が、長年の統計調査への尽力をたたえられました。

3人は従事を続けられる周囲への協力に感謝しながら、それぞれ「長くやってきたが大変な仕事。いかに相手に理解してもらえるか頑張りたい」(鈴木さん)、「やりづらいことは増えていくと思うが、人との出会いを大切に精進していきたい」(湯浅さん)、「ネットを活用して回答してくれたり、助かることもある。町民意識が高まっていくとありがたい」(奥村さん)と、今後への意欲を話していました。(12月18日)



堀さんが道社会貢献賞(自然保護関係功労者)

萩野の堀起與賜さん(77)。道委嘱の鳥獣保護監視員として20年間、町内一円のパトロールを行い、狩猟者に対する安全指導やヒグマ出没の注意喚起、鳥獣の保護など活動への尽力がたたえられました。胆振総合振興局の木内武雄くらし子育て担当部長が賞を伝達しました。堀さんは「私一人でもらったのではないと思っています。役場や猟友会、中でも女房が半分もらっている」と笑顔で賞状を受け取っていました。(12月18日)



まちづくり 協力に感謝

放課後児童クラブに図書カードと手縫い雑巾寄贈

町内で絵本の読み聞かせ活動などをするシラハギグループ(竹田博子代表＝写真左から2人目)から図書カード5万円分と手縫いの雑巾100枚の寄贈を受けました。2001年から古紙、空き缶回収に精を出しその収益で図書カードの寄贈を続けています。竹田代表は「手縫いの雑巾は会員33人みんなの協力で今年も完成しました。子どもたちのために役立ててください」と話しました。(12月18日)

